



糖尿病ケアと支援

～家族が糖尿病と言われたら？～

参加費無料

途中入退室自由

定員500名

言語:日本語

日時

2022.12.10 (土)
13:00～15:30

場所

Zoomウェビナーによる
オンライン会議室

対象

どなたでもご参加いただけます
お気軽にお申込みください

申込み

12.8(木)までに
iCONMホームページより
お申込みください



iCONM

検索

問合せ

ナノ医療イノベーションセンター(iCONM)
市民公開講座担当
TEL: 044-589-5700
Email:
iconmpubliclecture@kawasaki-net.ne.jp



13:05～
レジリエント健康長寿社会の実現に
向けて
一木 隆範

iCONM研究統括 / 東京大学大学院工学系研究科 教授

iCONMが中核となり「医工看共創が先導するレジリエント健康長寿社会」の実現を目指す10年プロジェクトが新たに始動しました。年齢を重ねるごとに進む体調の変化を日常生活の中で捉え、必要に応じて復元させる技術開発の取組をご紹介します。



13:15～
家族が糖尿病と言われたら？

土屋 千恵子

川崎市立川崎病院 糖尿病看護認定看護師

治療を始めたものの効果が実感できずに放置してしまい、合併症を引き起こすことが多い糖尿病。働く世代、高齢者や認知症の方が糖尿病と診断されたら？ひとり一人の生活に合わせた看護現場でのケアと支援についてご紹介いたします。



13:45～
「貼るだけ人工すい臓」の社会実装
を目指して

松元 亮

東京医科歯科大学生体材料工学研究所 研究教授

高分子ゲルを応用した自律型のインスリン供給機構とマイクロニードルを融合することで、痛みなく、より正確に、かつ経済的なインスリン療法を実現する「貼るだけ人工すい臓」デバイスを開発しています。その最前線をご紹介します。

14:15～パネルディスカッション
糖尿病ケアを<医療・家族・企業>から考える

ファシリテーター

◆ 渡邊 嘉行 総合川崎臨港病院 理事長 (医師・医学博士)

パネリスト (50音順)

◆ 沖 俊吾 BIPROGY 株式会社

◆ 近藤 如子 総合川崎臨港病院 管理栄養士

◆ 土屋 千恵子 川崎市立川崎病院 糖尿病看護認定看護師

◆ 松元 亮 東京医科歯科大学生体材料工学研究所 研究教授

15:20～
閉会挨拶

片岡 一則

iCONMセンター長 / 東京大学名誉教授